

令和7年度

# 予算編成に関する要望書



栗原 義幸

中元 太

熊田 尚子

2024/11/05

飯能市長 新井 重治 様

## 令和7年度予算編成に向けた要望書

2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻により国際社会をはじめ、国内の社会経済も多大な影響を受け、特に燃料、食品をはじめとする物価高騰が市民の生活に大きく影響を与え続けております。また、気候変動に伴う自然災害の頻発化や激甚化、首都直下型地震など大規模地震が切迫する中、防災・減災への取り組みも急務です。更に、少子高齢・人口減少も進み、市政運営をする状況は年々厳しくなる一方で、同時に子どもたちを取り巻く環境も変化しています。

しかし、その中であっても、将来を見据え、持続可能な安心で安全な飯能市を築いていかなければなりません。そのためには、課題解決に向けて今まで以上に、新井市長の積極的かつスピード感とバランス感を持った、大胆な施策展開に期待をします。明るい未来の飯能市を築いていくため、魅力と活力に溢れた、新井市長の強いメッセージとして市民に伝わる予算にして頂くことを強く期待するものです。

来年度予算編成に向けた要望書では、具体的な施策として各所管12分野、120項目を記載しました。これらの多くは「切実な市民の声」をもとに練り上げたものです。令和7年度に予算化あるいは施策化を求めるとともに、難しい事項についても、庁内での継続的な検討に真摯に取り組んでいただけると期待し、要望書として提出致します。

## **重点要望**

### **防災危機管理室**

自然災害は起きるもの。その時どうするかではなく、その時まで  
にどうしていたかが問われます。地域防災計画策定の推進や土嚢ス  
テーションの設置は自助共助を後押しします。また、避難所の充実  
と安心できる避難所運営は今や必須の条件でもあります。

### **企画総務部**

公共施設は安心して安全な施設であらねばなりません。耐震化・老  
朽化施設の耐震補強、建替え、複合化と集約化等の推進も必要で  
す。また、子育てにやさしいまちづくりも重要です。駅周辺に授乳  
ができる赤ちゃんの駅の設定が必要です。その他、防災道の駅や非  
核平和都市宣言の推進に期待します。

### **財務部**

交付税措置率の高い国の事業債は本市にとっても極めて重要な財  
源保障であります。活用できるものを積極的に取り入れることを期  
待します。譲与税や基金等の収支は、市民にわかりやすく明瞭に公  
開することを望みます。

### **市民生活部**

本市における、公共交通事業の継続は重要かつ重大な課題であり  
ます。民間との連携によるライドシェアの導入は交通空白地域や農  
山間地域の市民にとって切実な願いでもあります。新たな展開に期  
待をしています。また、市内にも在留外国人が増えています。暮ら  
しを支える相談窓口の設置を要望します。

### **産業経済部**

市内の景気経済を下支えしてくれている中小零細企業の活性化策

の充実を図ることで雇用の創出や所得の向上が期待できます。行政の後押しで地域経済の好循環を期待します。また、サーキュラーエコノミーの促進や廃棄物再生利用の強化も推進願います。

### 農林部

事業者の高齢化や後継者不足、相続などの事情により耕作することが自体が困難となっている一方で、意欲のある新規就農者も増えつつあります。両者のマッチングや継続可能な事業者への後方支援としての施策が必要です。飯能市ならではの特産品の研究開発の支援に期待します。また、自然災害の甚大化もあることから、防災・減災に資する間伐事業の推進にも期待します。

### 福祉部

来年度には5人にひとりが認知症となる推計もあります。安心して住み続けられる街づくりと支援策を強化することが重要です。また、ひきこもり相談支援や居場所作りなどの体制も、障がい者（児）や乳幼児の福祉避難所の設置も重要です。高齢者等の緊急時通報システムの整備拡充にも期待します。

### こども支援部

子どもは本市の宝であることは言うまでもありません。子どもと保護者にとっての行政サービスを充実することは未来の飯能市への投資であります。支援体制の充実や子育て環境の質を高めることは重要な施策の中でも最優先な施策であります。この度飯能市公明党が挙げた要望にできるだけ沿う予算編成を願います。

### 健康推進部

飯能版ネウボラは好評を得ています。更なる伴走型相談支援の強化として通所型産後ケア施設の設置に期待します。また、発達障がいや聴覚障がいの早期発見と対応など乳幼児検診の充実を要望します。また、市民の安心安全のため、AEDのコンビニエンスストア設置や三角巾等の配備も要望します。

## 建設部

街づくりから防災を考えた時に流域治水の対策強化は必須となりました。今後の整備計画への導入を期待します。同時に、公園の更新や新規設置には、かまどベンチや災害用トイレ、備蓄倉庫などの防災機能を持った防災公園の設置を要望します。また、市民の声に多い、元加治駅南口の開設は転入者増加への糸口にもつながります。早期開設に期待します。

## 上下水道部

デジタル DX の施策としてのスマートメーターの研究・検討、上下水道の重要な幹線における地震対策の推進を要望します。また、SDGs や自主財源確保の観点方から下水汚泥の再利用化の促進にも期待します。

## 教育委員会・教育部

教育とは子どもの幸せのためにあります。子どもは自らよくなりたいという意志を本能的に持っています。その意志を尊重し引き出す場が学校です。しかし、様々な理由で学校に来られなくなっている子どもたちが相変わらず減っていきません。その子たちの学びの保障を守るためにも、命を守るためにも学校は変わるべき時にきています。教育部局と市長部局は独立してはいますが、今こそ、新井市長のリーダーシップで新たな教育スタイルを実現することを期待します。

＝ 目 次（所管別 12分野 120 項目） ＝

（1）防災危機管理室	13項目	・・・P6
（2）企画総務部	13項目	・・・P7
（3）財務部	2項目	・・・P8
（4）市民生活部	7項目	・・・P8
（5）産業経済部	9項目	・・・P9
（6）農林部	6項目	・・・P9
（7）福祉部	13項目	・・・P10
（8）こども支援部	8項目	・・・P11
（9）健康推進部	9項目	・・・P11
（10）建設部	12項目	・・・P12
（11）上下水道部	4項目	・・・P13
（12）教育委員会・教育部	24項目	・・・P13

## (1) 防災危機管理室 13項目

- 1 避難所の運営、受入環境の充実と体制の強化。
  - ① 子どもと女性が安心できる避難所運営
  - ② ペット同行避難受け入れ体制の確立
  - ③ 簡易トイレの増設
- 2 災害弱者（高齢者・障がい者）に考慮した避難体制の確立及び、福祉避難所の設置促進と周知の徹底。
- 3 ICT、ドローンを活用した情報収集・物資搬送の防災システムの構築。
- 5 被災者支援システムの導入。
- 6 避難所の停電対策の強化（非常電源の確保）。
- 7 気象防災業務の推進と強化。
- 8 トイレトレーラの導入。
- 9 団員の負担を無くした持続可能な消防団の在り方検討。
- 10 老朽化した消防団詰所の建て替え。
- 11 福祉部と連携した高齢者のひとり歩きやさしい声かけ訓練を防災訓練で。
- 12 地域防災計画策定の推進。
- 13 公共施設への緊急時簡易土嚢置き場、（土嚢ステーション）の設置。

## (2) 企画総務部 13項目

- 1 人口推移を十分に考慮し、定住促進への若もの世代や働く女性、主婦層にふさわしい、きめ細やかな施策（同居・近居の為の支援制度等）、飯能らしさを活かした街づくり。
- 2 公共施設等総合管理計画における耐震化未実施・老朽化施設の適切な耐震補強工事、建て替え、複合化・集約化等の推進。（保育所・保健センター・地区行政センター・市民会館等）
- 3 特区活用による精明東部への企業誘致を積極的に推進。
- 4 公共施設・学校と観光トイレの洋式化（温水洗浄便座）の促進、女性トイレに生理用品無償設置。
- 5 文化・芸術に特化した人たちの誘致。（芸術家たちの森飯能応援補助金の創設。）
- 6 ウッドスタートから始める、生涯木育推進事業の展開。（誕生日品のファーストトイの導入）
- 7 駅前共通投票所など、期日前投票所の増設・拡充についての研究・検討。
- 8 廃校となった学校施設・跡地の有効な利活用の早期推進。（おもちゃ美術館・林業大学・サテライトオフィス・高齢者、子ども等地域の居場所等）
- 9 「こどもまんなかのレイアウト」子育てにやさしいまちづくりの推進。（飯能駅周辺に授乳ができる赤ちゃんの駅の早期設置）



- 10 「防災道の駅」の研究・検討。
- 11 庁内における女性管理職の積極的な登用。
- 12 行政評価・政策評価等の制度としての導入。
- 13 「非核平和都市宣言」を。

### (3) 財務部 2項目

- 1 ネーミングライツ（命名権等導入施設）活用による自主財源の確保。
- 2 ふるさと納税制度の基金の再編を検討し、さらなる自主財源の確保策として、同制度の拡充を推進。

### (4) 市民生活部 7項目

- 1 防犯灯・照明灯（LED灯）・防犯カメラの効果的な設置で地域の安全安心を促進強化。
- 2 交通空白地域の特性に即した新たな公共交通事業の創出。（民間を活用したライドシェアの導入の検討）
- 3 高齢者の運転免許証自主返納に伴う市独自の支援拡充。
- 4 山間地域の主要道における騒音問題の緩和。
- 5 区画整理地内、通学路等、地域の防犯及び交通安全施策の推進。（防犯灯・カーブミラー・路面標示・注意看板等）
- 6 在留外国人の暮らしを支える相談窓口の設置。
- 7 女性活躍・男女共同参画のさらなる意識改革、啓発の推進。

## (5) 産業経済部 9項目

- 1 民間企業・団体と連携・協力した森林利活用モデルの構築、循環型森林利用の促進。
- 2 SPC（特別目的会社）を活用した飯能駅周辺部再開発事業の研究・検討。
- 3 南小畔川を中心とした遊歩道の整備で地域の魅力を向上。
- 4 ふるさと納税（体験型・テーマ型）の導入強化。
- 5 若年層および働くことを希望する高齢者を後押しするため市内内事業者への就職支援策等を拡充。
- 6 女性起業家支援の充実。
- 7 女性デジタル人材育成支援拡充の推進。
- 8 サークュラーエコノミーの促進へ、廃棄物再生利用への強化。
- 9 市内低山の管理強化。

## (6) 農林部 6項目

- 1 山林の水源涵養機能保全のための針広混交林化を促進。
- 2 遊休農地の解消と新規就農者支援の促進。
- 3 市街化農地の保全と市民農園の拡充。
- 4 森林資源を活用したおもちゃ美術館の創設。
- 5 飯能市ならではの農業特産品の研究開発。
- 6 防災・減災に資する間伐事業の推進。

## (7) 福祉部 13項目

- 1 子育て及び教育上での貧困格差の是正と支援策（生活・教育・自立）の更なる拡充。
- 2 社会的孤独・孤立、全世代のひきこもり者への相談・自立支援の強化。（民間活力と連携したひきこもり相談支援・居場所等の体制の確立）。
- 3 ふくしの総合相談窓口の設置検討。
- 4 市独自の手話通訳者派遣制度の導入、早期確立と「飯能市手話言語条例」の早期策定。
- 5 一人暮らし高齢者への見守り等、民間活力との連携強化。
- 6 認知症になっても安心して住み続けられる街づくり支援と施策の強化推進。
- 7 地域の助け合い組織・地域福祉推進組織の取り組みを強化。
- 8 高齢者のごみ出し支援の制度化を検討
- 9 福祉防災の取り組み強化。防災と連携した、障がい者（児）、乳幼児の福祉避難所設置の検討。
- 10 子ども・高齢者の居場所の充実。
- 11 高齢者・働く世代からのフレイル予防の啓発と促進。（脳トレ・Eスポーツ）
- 12 ボランティアポイント制度導入の研究・検討。
- 13 緊急時通報システムの整備拡充。

## (8) こども支援部 8項目

- 1 パートナー及び乳幼児・児童のDV・虐待の早期発見と早期対応。
- 2 子ども家庭センターとして母子保健と強固に連携した支援体制づくりの充実。(丁寧な伴走型相談支援と8~12ヶ月頃の乳幼児相談の実施)
- 3 子どもの発達障害の早期発見と早期対応の継続。
- 4 質の高い保育環境の充実。課題に対応した市内公立保育所整備の早期実施。
- 5 適正人数に対応した放課後児童クラブの早期整備。学校施設利用、保護者会運営クラブの課題への研究・検討。
- 6 子ども・若者育成支援施策の策定。
- 7 子ども誰でも通園制度の推進。
- 8 医療的ケア児施策の推進。

## (9) 健康推進部 9項目

- 1 伴走型相談支援の強化。産前・産後ケア体制の充実。(市内に通所型産後ケア施設設置)
- 2 乳幼児健診のさらなる充実で発達障害、聴覚障害等の早期発見・対応を。  
①児童福祉と連携した8~12ヶ月時期の相談または健診実施の検討。

②5 歳児健診実施。

③乳児健診に聴覚検査組み入れ。

- 3 がん検診に、胃がんリスク判定（ピロリ菌とペプシノゲン検査）の導入と「がん検診」の受診率向上。
- 4 乳がん・子宮がん予防の啓発推進と、胸部補整具、ウィッグ補助の検討。
- 5 健康な歯「8020運動」及び「オーラルフレイル対策」の推進。
- 6 母子手帳アプリ・障害者手帳アプリの早期導入。
- 7 女性・若年世代の健康づくり支援、プレコンセレブションケアの推進。
- 8 認知症施策「ユマニチュード」の位置付け。
- 9 AEDのコンビニエンスストア設置。三角巾等の配備。

## （9）建設部 12 項目

- 1 計画的な「バリアフリーのまちづくり」を進め、人にやさしい市街地環境を推進。
- 2 冠水・浸水、内水氾濫等、流域治水の対策強化。
- 3 美杉台多目的運動公園の人工芝張替え。
- 4 生活道路の未舗装道路の整備促進と、歩道の設置・補修・改良の促進強化。
- 5 道路陥没防止の為に路面下空洞化調査の拡充。
- 6 中心市街地の発展に即した無電柱化の更なる推進。

- 7 市内各所の街路樹による根上がり被害対策。
- 8 飯能駅北口ロータリー及び周辺区域における再編の検討およびユニバーサルデザインの導入。
- 9 子どもたちの多様性を尊重できる、インクルーシブ遊具を備えた公園の設置。
- 10 市営住宅の新しいカタチ「市営住宅タウン構想」の検討。
- 11 防災に資する機能（かまどベンチ、災害用トイレ、備蓄倉庫等）を持った「防災公園」の設置。
- 12 元加治駅南口の早期開設。

#### (10) 上下水道部 4項目

- 1 水道事業の効率化、省力化に向けたスマートメーターについての研究・検討。
- 2 下水道サーベイランスのデータ活用と研究を推進。
- 3 上下水道の重要な幹線における地震対策を推進。
- 4 下水汚泥の再利用化促進。

#### (11) 教育委員会・教育部 24項目

- 1 通学及び校内での安全と防犯の為、グリーンベルト・横断歩道・防犯灯・照明灯・防犯カメラ、路面標示の設置及び徹底した安全点検。
- 2 いじめ・不登校児童対応として教職員・さわやか相談員・保

護者と更なる連携強化。SNS を活用した24時間対応相談窓口の設置。

- 3 市街地の小学校での放課後子ども教室の設置推進。
- 4 放課後児童クラブ、放課後の居場所の学校施設利用の検討。
- 5 学校教育で高度な芸術・文化に触れる事業や授業を増加。
- 6 有形無形文化財の保護と伝統芸能の記録・保存（デジタルアーカイブス）の促進と利活用。
- 7 法律問題負担軽減の為、スクール・ロイヤー（学校弁護士）の導入。
- 8 小・中学生への防災教育と地域と連携した防災訓練の実施。
- 9 ノーマライゼーション、多様性を認め合う人間性を育む為の教育を充実。
- 10 生命を大切にし、生きる力を育む教育の充実。（平和教育・がん教育・性教育・薬物乱用防止教育・消費者教育・森林環境教育・ネットリテラシー・金融リテラシー等）
- 11 主権者教育の推進。
- 12 小・中学校体育館に空調設備を設置し、幼保・学校における避難物資、備蓄品、非常電源装置など確保。
- 13 セーフティープロモーションスクールの導入に向けた研究・検討。
- 14 奥武蔵創造学園における、幼保・小・中一貫校の研究・検討。
- 15 幼稚園・学校における医療的ケアその他の支援への研究・検討。

- 16 ヤングケアラー支援の充実。（福祉・他機関との連携強化、コーディネーター・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの確保）
- 17 インクルーシブ教育の推進と体制整備。
- 18 不登校対策・学校の在り方（学びの多様化学校・学びの保障）の研究・検討。
- 19 校内スペシャルサポートルームの1人1人に対応した支援充実と、適切な支援員の配置。
- 20 中学校の通級指導教室（必要な生徒が取り残されることなく、適切な支援を受けることのできる場）設置の研究・検討。
- 21 学校給食無償化の研究・検討。
- 22 キャリア教育の強化とサービスラーニングの導入。
- 23 学校体育館に電子錠の導入。
- 24 スポーツ施設の更新推進。（コート整備・トイレ）